

腰椎椎間板ヘルニアに対する新しい低侵襲治療 椎間板内酵素注入療法

(ヘルニコア注入)のご紹介

荻窪病院
地域連携ニュース
11月



●整形外科/脊椎センター 医師
谷本 祐之 たにもと ゆうじ
2009年 杏林大学医学部 卒業
・医学博士
・日本整形外科学会整形外科専門医

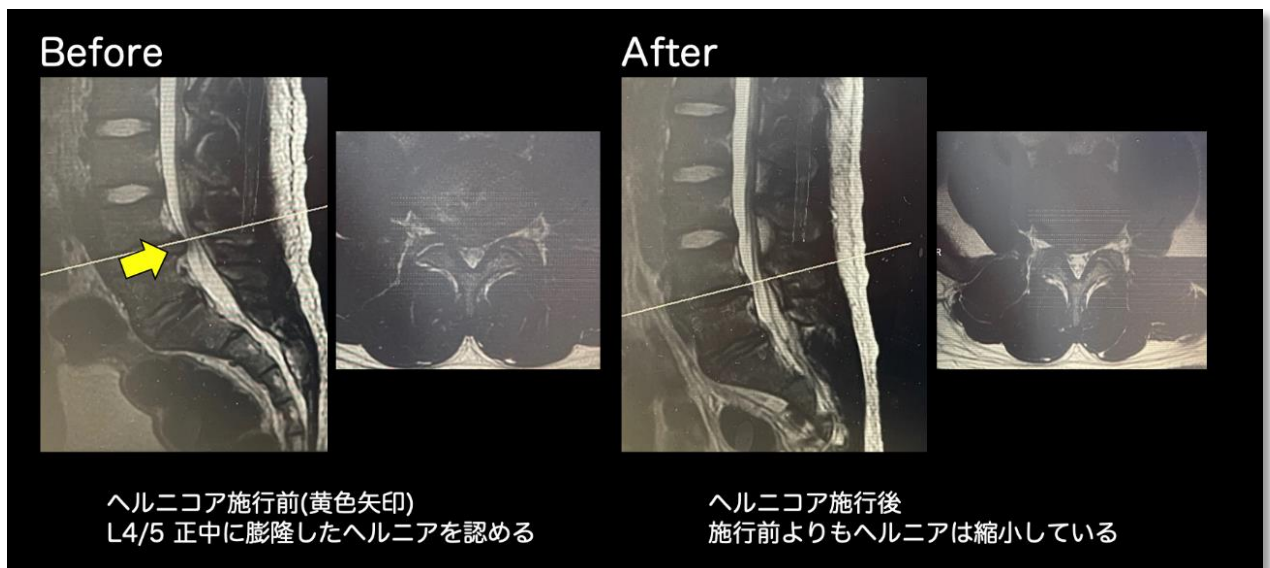
みなさま、荻窪病院 整形外科 脊椎センター員の谷本 祐之と申します。当脊椎センター 河野 亨センター長と共に脊椎関連の疾患に対して日々診療に従事しております。

今回は、当院で施行している腰椎椎間板ヘルニアに対する新しい治療法についてご紹介させていただきます。これまでは、腰椎椎間板ヘルニアの保存加療抵抗例には手術が第一選択とされてきました。しかし、2018年に厚生労働省に新たに認可されたコンドリナーゼ(ヘルニコア)は手術の代替療法として注目されており、当院でも積極的に施行しております。

方法・作用機序ですが、椎間内に注入されたコンドリナーゼが椎間板髄核内のプロテオグリカンを特異的に分解し、保水成分を低下させ椎間板内の減圧を行い、ヘルニアを縮小させます。当院では、注射後の経過観察のため当日入院の1泊2日の体制をとっております。本治療は、医師要件と施設要件を満たす必要があります。

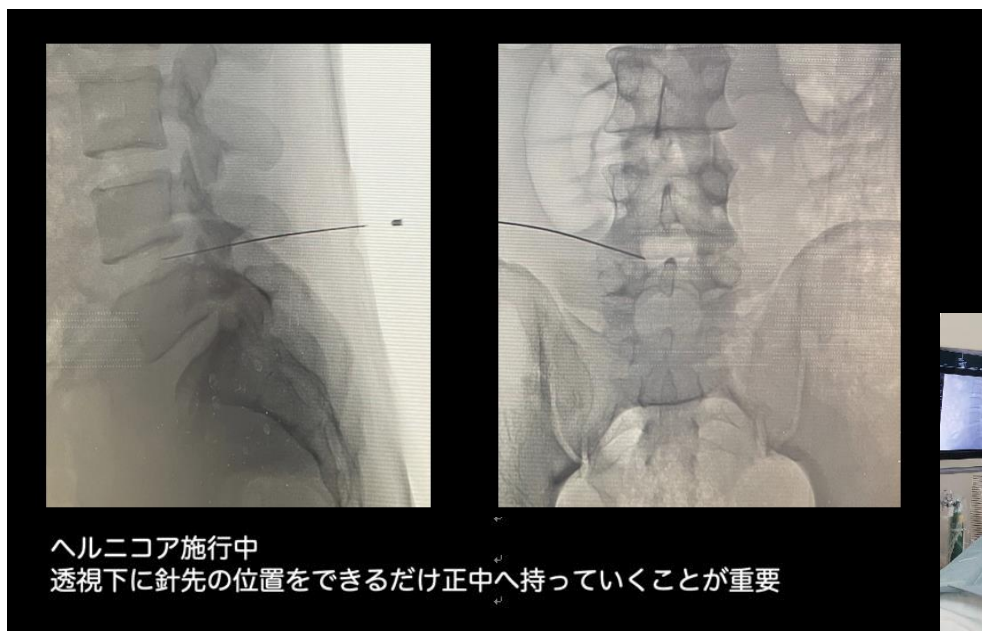
1泊2日入院 施行時間は20分程度の患者さんにやさしい治療

最近では、近隣の先生方より手術目的でご紹介頂いた患者さまに対して、手術の方法だけでなく、ヘルニコアの治療法もご提示させて頂いております。適応に関しては、ヘルニアの脱出型によっては効果が不十分な症例もあるため、術前症状やMRI画像などを基に詳細に検討する必要があると考えております。



症例を供覧します。20代後半男性 腰痛を主訴に近医で2ヵ月程、投薬などの保存加療を施行するも症状改善せず、当センター紹介受診となりました。MRI上、L4/5 靭帯下脱出型の腰椎椎間板

ヘルニアを認めました。透視下に L4/5 椎間板高位にヘルニコアを注射し、薬剤投与 1 週間には著名な腰痛の改善を認め、投与後 3 ヶ月で完全に症状消失し経過良好でした。



ヘルニコア施行中
透視下に針先の位置をできるだけ正中へ持っていくことが重要

↓血管撮影室でコンドリアーゼ
(ヘルニコア)を注入する



腰椎椎間板ヘルニアに限らず、腰部脊柱管狭窄症、頸髄症などの脊椎疾患は高齢化社会と共に増加傾向です。当院では、患者さまの状態に応じた最適な治療法ができるように日々心がけております。長文とはなりましたが、今後とも先生方よりご指導、ご鞭撻の程賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。(ご紹介は「脊椎センター宛て」でのご予約にて、承ります)

受託検査

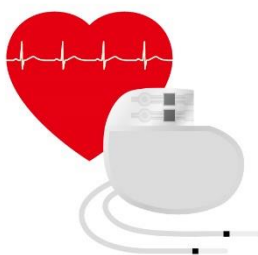
MRI 対応ペースメーカー患者さんの MRI 検査を開始しました

条件付き MRI 対応ペースメーカーを植え込んでいる患者さんの MRI 受託検査のお受け入れが可能となりました。

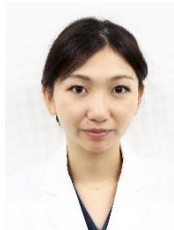
ご依頼のお電話では、撮影部位と条件付き MRI 対応ペースメーカー装着の旨をお伝えください。「ペースメーカー外来」の予約日をご案内いたします。

患者さんには、まずペースメーカー外来(水曜・午後)をご受診頂き、植え込みペースメーカーの撮影条件を確認いたします。撮影可能な場合、MRI の予約をあらためてお取り頂き、撮影当日にペースメーカー外来にてペースメーカーの設定を調整の上、撮影。撮影後に設定を戻してお帰り頂く流れとなります。

検査結果は、他の MRI 撮影と同様に検査後 3 営業日前後でお送りしております(特にお急ぎの場合はご相談ください)。なお撮影は「単純撮影のみ」となります。



入職医師
ご紹介



●内科・消化器内科 (10/1 より)

松谷 直美

まつたに なおみ

2021 年 10 月より勤務となりました。消化器内科、内科一般の診療を担当させていただきます。地域の皆さんに少しでも貢献できるよう、頑張りたいと思います。



●整形外科 (10/1 より)

竹内 啓

たけうち けい

この度、荻窪病院で整形外科一般診療を担当させていただくこととなりました。地域の皆様の生活に少しでも貢献できますよう、精進してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

ご紹介・ご相談は

荻窪病院 地域連携室

発行：2021 年 11 月

月～金 8:30～18:30 土 8:30～12:00 TEL 03-3399-0257 FAX 03-3399-0258 〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24